

令和3年10月

川越市教育委員会地域教育支援課

緊急事態宣言を乗り越えて

8月2日から9月30日まで、埼玉県に新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、緊急事態宣言が発出され、2度の延長を経て10月になりました。

今年の夏季休業中もコロナ禍のため、感染拡大防止を第一に考え、活動を見直し、芳野地区や福原地区で、計画していた「夏休み寺子屋教室」も8月の予定は、中止せざるをえませんでした。7月中の活動は、実施することができたものもありますので、裏面で紹介します。

また、この時期に、サポート活動についての見直しを図り、リモートでできることを試しながら、前進しようという動きもあります。どのサポート委員会も「子どもたちのために」を合い言葉に、話し合いや実施方法・内容などを検討しています。

令和3年度 第2回 子どもサポート本部会議が開かれました

令和3年7月20日（火）川越市北公民館で、今年度2回目の本部会議を実施しました。

子どもサポート発表会実行委員会が、「子どもサポート発表会」と「小江戸見つけ隊作品コンクール及び作品展示会」を円滑に実施されるために今年も設置されました。



実行委員会には、運営部会・審査部会・展示部会の3つの部会があり、それぞれの活動内容の確認と今年度の実施方法について話し合い、内容を詰めました。

遠藤克弥実行委員長のもと、サポート発表会の運営を担う運営部会長に、山田貢さん（中央サポート委員長）が決まり、プログラムや発表会の進行について話し合いました。

また、小江戸見つけ隊作品を審査する審査部会は、松本紀美子さん（市子連）が部会長です。さらに、小江戸見つけ隊作品展示会の展示を担う展示部会長の中島利一さん（山田サポート委員長）を中心に、2月に美術館で開く作品展の展示方法やレイアウト等について話し合いました。



子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」募集中！ 今月末が、締め切りです

只今、子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」の作品を募集中です。地域のよさやすばらしさを作文や絵画、新聞に表現して皆さんに紹介した作品が、続々と届いています。応募の内容は以下のとおりです。応募の締め切りは10月29日（金）までです。

- （1）作文の部・・・B4版400字詰め原稿用紙3枚以内
- （2）絵画の部・・・四つ切り画用紙、縦・横は自由
- （3）新聞の部・・・B4版・縦長1枚、画用紙等はB4の大きさに切る。写真等を用いるのは可とするが、写真のみの作品は不可。パソコン等での作成も可。

応募の際には、学校名・学年・氏名・保護者名・住所などを書き込む出品票が、学校を通じて配られていますので、ご使用ください。

応募された作品を部門ごとに小学校低学年の部（小1～小3）と小学校高学年の部（小4～小6）、中学生の部に分けて審査をしていきます。

入選作品 令和4年2月5日（土） 川越子どもサポート発表会会場（やまぶき会館）

全応募作品 令和4年2月16日（水）～2月20日（日） 川越市立美術館

『子どもサポートコンクール「小江戸見つけ隊」展示会』

「学校・家庭・地域の連携」に関わる研修会

毎年実施している「学校・家庭・地域の連携」に関わる研修会を今年度は、下記のとおり、オンライン形式で行います。9月に、開催のお知らせを学校と公民館とサポート委員長様宛に、出しました。

内容は、今後川越市でも全校で始まるコミュニティ・スクール（略してCS）に関する研修会です。

記

- 1 開催日 令和3年11月24日（水）
- 2 開催時間 午前10時～11時30分
- 3 講師 CSマイスター 井上 尚子 氏



東京都杉並区の小学校で、学校運営協議会の会長職務代理者を務めるとともに、地域学校協働本部でアドバイザーの役職も担っています。

- 4 対象 各小中学校1名、CS実施校の運営協議会委員、子どもサポート委員

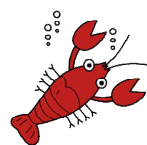
各地区の活動の様子をお伝えします

学校応援団活動と地域の特色を生かした様々な活動

霞ヶ関地区 ザリガニつり

7月8日（木）に霞ヶ関南小学校の2年生が、生活科の学習で、ザリガニつりに出かけました。サポート委員会では、行き帰りや捕獲中の児童の安全見守りを行いました。

子どもたちは、竿に思い思いの餌をつけて、そっと水の中に入れてザリガニが食いつくのを楽しそうに待っていました。



南古谷地区 子どもサミット会議～グーグルミート活用～

7月12日（月）子どもサミットをリモート形式で実施しました。

南古谷小学校、牛子小学校、南古谷中学校、東中学校、砂中学校の5校の代表の児童生徒が、それぞれの学校の紹介と校内での取組を発表しあいました。サポート委員長が、司会進行を行い、サポート委員の方々とともに南古谷中学校内の教室で、見守りました。



山田地区 藍染体験

7月26日（月）と27日（火）に、山田小学校の児童21名が、山田公民館で、「藍染体験」を行いました。

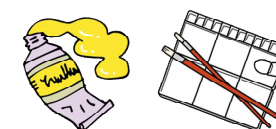
毎年5年生の総合的な学習の時間の体験学習として定着してきたものを今年は、夏休みに少人数で実施しました。サポート委員が一人一人に寄り添いながら、丁寧に教えて染め上げた作品は、ランチョンマットです。



芳野地区 寺子屋教室

7月27日（火）、芳野公民館で「寺子屋芳野っ子」が開かれ、約30名の小学3年生が参加しました。今年度は、感染症拡大防止のため、公民館の3つの部屋の定員の半分以上の人数になるように工夫しての実施でした。学年も3年生に絞り、申し込み順の30名で実施しました。夏休みの宿題、絵画、読書感想文などそれぞれの子どもたちが真剣に取り組んでいました。

2回を予定していましたが、8月の回は、緊急事態宣言が発出されたため中止になりました。



福原地区 夏休み勉強会

福原公民館で、福原地域会議と共催で「夏休み勉強会」を7月26日（月）に開きました。1年生から6年生まで、22名の児童が、参加しました。読書感想文や絵画、夏休みの課題を持ち寄り学習しました。今年初めて木片を使った工作にも挑戦して、作品を仕上げました。夏休みの子どもたちの居場所づくりとして試行的に始めてから3年目で、参加者が着々と増えてきました。

2日間の予定でしたが、緊急事態宣言の発出により、8月の回は中止になりました。



中央北地区 おうちで、まが玉づくり

毎年7月に北公民館で実施している「まが玉づくり」は、10年以上続く、参加者が毎年抽選になるほど小学生に人気の体験活動です。

今年はコロナ禍ということで、少し趣向を変え「おうちでまが玉づくり」を企画しました。まが玉キットを使って家族と一緒に、まが玉づくりに挑戦！

出来上がったまが玉は、写真を撮って応募してもらい、応募作品は公民館に掲示します。

